

令和6年度 阿武町立阿武小学校 後期学校評価報告

保護者、地域関係者への「よりよい学校づくりのアンケート」と児童の「ふりかえりカード」の集計結果をもとに、本年度の重点目標を踏まえ、「郷」「知」「徳」「体」のそれぞれの重点取組事項について考察を行いました。

本年度の重点目標

子どもたちの将来的な自立と共生を願い、その素地となる「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」の心や力を意識しながら授業や教育活動を進め、「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくる。

本年度の重点取組事項

郷

- ・育てたい心や力を意識したふるさと学習(ABU学)の推進
- ・学校間、校種間連携の推進(架け橋期のかきゅう)

知

- ・育てたい心や力を意識した、分かる、できる授業づくり
- ・タブレット端末を効果的に活用した学びの場づくり

徳

- ・豊かな人間関係づくり(挨拶、感謝、言葉づかい教育相談等)
- ・命の教育(防災、防犯、交通安全)の充実

体

- ・歯と口の健康教育の推進
- ・基本的な生活習慣の確立(睡眠、望ましいメディアの利用等)

コミュニティ・スクールの取組を基盤として

【最重点取組事項】

- (知) 学力向上に向けて、分かる、できる授業づくりを進める。
- (徳) 温かい豊かな人間関係づくりを進める。

以下に、その報告をいたします。

* 学校関係者評価は、学校運営協議会でこの資料を報告した後にいただいた評価です。

(郷) ～4つの心や力を意識した取組～ ～保小中の連携・協働～

【4つの心や力を意識した取組】

	そう思う	少し思う	あまり思わない	思わない	平均	達成率
児童	45%	49%	6%	0%	3.4	84.9%
保護者	59%	39%	0%	2%	3.6	88.9%
地域	78%	22%	0%	0%	3.8	94.4%
教職員	82%	18%	0%	0%	3.8	95.5%



今年度は、「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」の心や力を、授業やふるさと学習「ABU学」において具体的な姿で示し、大人はもとより当事者である児童にも意識化を図ってきた成果があらわれています。子どもたちの将来的な自立と共生を願い、その素地となる4つの心や力を来年度も中心に据えて学校経営を進めてまいります。

【保小中の連携・協働】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	81%	14%	6%	0%	3.8	93.8%
保護者	62%	36%	2%	0%	3.6	90.0%
地域	67%	28%	6%	0%	3.6	90.3%
教職員	55%	36%	9%	0%	3.5	86.4%



学校関係者評価 4

年長児から1年生の2年間における「育ち」と「学び」をつなぐ「架け橋期のカリキュラム」が、今年度の研究・実践を通して完成しました。来年度以降、本町の子どもたちにとって本当に必要な連携が、園児・児童はもとより教職員間において進むことは大きな成果です。また、「きづく、きめる、かかわる、やりぬく」の心や力を意識した福賀小学校との連携・協働が、3校協働研修会において授業レベルで加速化しました。

（知） ～分かる・できる授業づくり～ ～タブレット端末を効果的に活用した学習～

【分かる・できる授業づくり】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	67%	28%	5%	0%	3.6	90.6%
保護者	56%	37%	6%	2%	3.5	86.6%
地域	71%	18%	12%	0%	3.6	89.7%
教職員	91%	9%	0%	0%	3.9	97.7%



学校関係者評価 3

最重点取組事項であるこの取組に対して、研究指定校を契機に1年間、授業改善に全力で取り組んできた成果がアンケート結果にあらわれています。また、第2回学校運営協議会では、当事者である児童の意欲を高めるために、勉強についての「熟議」を行いました。これらの取組を今年1年間で終わらせることなく、来年度以降に「つづく」よう、保護者、地域、町内の小中学校、そして阿武町教育委員会とともに前進させ、学力の定着を図ってまいります。

【タブレット端末を効果的に活用した学習】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	44%	39%	16%	1%	3.3	81.5%
保護者	38%	42%	18%	2%	3.2	79.1%
地域	60%	33%	7%	0%	3.5	88.3%
教職員	82%	18%	0%	0%	3.8	95.5%



学校関係者評価 4

タブレット端末のロイロノートを使った授業スタイルが1年間の研修・実践を通して日常的になり、分かる、できる授業づくりに効果を上げています。また、活用事例は授業中にとどまらず、朝のスキルタイム等での復習や補充学習においても広がっています。さらに、家庭学習においても、学年の発達段階に応じて効果的な活用を進めています。

【進んであいさつ】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	49%	42%	7%	3%	3.4	84.1%
保護者	42%	38%	18%	3%	3.2	79.5%
地域	47%	41%	12%	0%	3.4	83.8%
教職員	36%	45%	18%	0%	3.2	79.5%



学校関係者評価 4

「楽しさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくるために、児童が決めたチャレンジ目標の1つがあいさつでした。児童が意識して取り組んだことに加え、教職員も積極的にあいさつと価値付けを行ってきたことで向上しています。また、保護者の意識も前期に比べて否定的な意見が減り、そう思うが6ポイント増えています。家庭での関わりはとても重要です。来年度もともに進めてまいりたいと思います。

【やさしい言葉をつかって話す】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	49%	45%	5%	1%	3.4	85.5%
保護者	32%	56%	13%	0%	3.2	79.9%
地域	33%	44%	22%	0%	3.1	77.8%
教職員	18%	64%	18%	0%	3.0	75.0%



学校関係者評価

3

豊かな人間関係づくりにおいて大切となる言葉遣いについては、後期に、児童が決めたチャレンジ目標「ふわふわ言葉」の浸透を図ったり、学校生活において相手を「さん」付けで呼ぶことを働きかけたりしました。また、人権教育参観日での授業公開や学校保健安全委員会での児童発表、そして2月の学級懇談会につなげながら、学校経営の柱として最重点に位置付けて全校的に進めてきました。PTAも運営委員会においていじめ防止に関する研修を行っています。児童の学校生活に不安を感じる保護者の方もいらっしゃいます。学校での取組は続けてまいります、家庭教育も重要です。ご家庭でもアンテナをはり、しっかり導いていただきたいと思います。

【安全・安心な学校生活を守る取組】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	73%	26%	1%	0%	3.7	92.9%
保護者	59%	39%	0%	2%	3.6	88.9%
地域	71%	24%	6%	0%	3.6	91.2%
教職員	73%	27%	0%	0%	3.7	93.2%



学校関係者評価 4

後期は、引き渡し訓練に多くの保護者が参加され、有事の際の連携を確かめることができました。3学期の避難訓練は、事前に日時等を伝えず休み時間に実施しました。来年度も段階を踏みながら、児童の自助・共助の姿勢を育むため4つの心や力を意識して取り組んでまいります。

【歯と口の健康教育の推進】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	72%	26%	2%	0%	3.7	92.3%
保護者	83%	17%	0%	0%	3.8	95.7%
地域	94%	6%	0%	0%	3.9	98.6%
教職員	91%	9%	0%	0%	3.9	97.7%



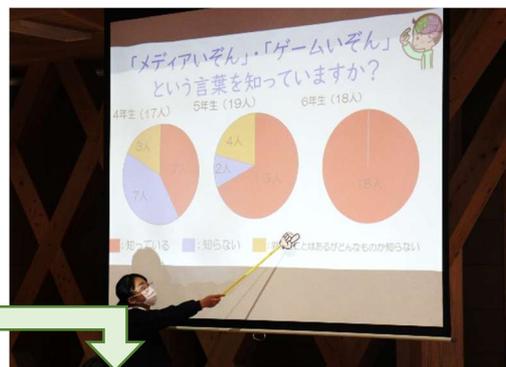
学校関係者評価 4

山口県歯科医師会が主催する『令和6年度「8020運動」推進表彰』において、阿武小学校が山口県学校歯科保健優良校に選ばれ、山口県教育長賞を受賞しました。これは、長きにわたり、学校歯科医や町健康福祉課と緊密に連携した効果的な取組に加え、保健・給食委員会の児童による積極的な活動と保護者の協力が相乗的な効果を上げてきた成果だと捉えています。歯と口の健康教育に関わる多くの皆様とともにいただいた賞です。いっしょに喜び合いたいと思います。

これからも、「自分の健康を自分で守る」そんな子どもたちの将来的な姿を願いながら、保小中の連携も視野に、持続可能な取組へつなげてまいります。

【望ましいメディア利用】

	そう思う	少し思う	あまり 思わない	思わない	平均	達成率
児童	44%	36%	15%	5%	3.2	80.1%
保護者	14%	33%	36%	17%	2.4	61.2%
教職員	18%	45%	36%	0%	2.8	70.5%



学校関係者評価 4

今年度に限らずこれまでの3年間、「レインボー週間」や「学校保健安全委員会」などを通して、望ましいメディア利用に向けた取組を重点的に進めてきました。これは、児童の健康面のみならず、豊かな人間関係づくりにも多大な影響を及ぼすものと危惧しているからです。

メディアコントロールは、児童の生活面での自立をめざすPTA活動方針の1つです。保護者の危機意識はどうでしょうか。児童の健全な成長に向けて今一度立ち止まり、時に決め直すことを考えていただければと思います。

学校教育活動をよりよくするために、ご意見や情報があればお聞かせください。

保護者から

- いじめや暴力などを行う児童といっしょの学校生活が不安です。
→温かい豊かな人間関係づくりに向けて、家庭、地域とともに真摯に取り組んでまいります。
- いろいろな活動が縮小傾向にあるように感じていて残念に思います。(遠くへの校外学習、鍛錬遠足、縦割り班での集会活動)教科書以外の学びも、もっと必要だと思います。そのような活動を通して子どもたちを育てていただきたいです。
→学校教育目標の実現につながる教育活動の質的な充実に努めるとともに、ふるさと学習「ABU学」など地域との豊かな体験を通じた学びを展開してまいります。
- 校内における細かなルールが気になります。誰の何のためのルールでしょうか。授業中の定型的なやりとり(「どうですか」「いいです」等々)に違和感があります。
→主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、児童が互いに支え合う支持的風土に満ちた学級づくりが重要です。授業に限らず相手の発言に対して無言の空気が広がるのではなく、よりよく「かかわる」意味で反応を促しています。
- 働き方改革により先生の労働時間が少なくなることは大変よいことだと思いますが、その分、宿題を多く出すことは、子どもに残業時間を押しつけていると思います。
→教職員の働き方改革にご理解をいただきありがとうございます。家庭学習ですが、学習の定着を図るためにはとても大切なものです。そのために必要となる適切な量を出すようこれからも努めてまいります。
- 校内でのいろいろな大会で3位以内になった子には全校児童の前で表彰することで、意欲の向上につながると思います。
→学校としても児童の意欲を大切にしたいと思います。一方、児童数減少が見込まれる中、表彰人数を増やすことにより、自己肯定感が下がってしまうかもしれない児童が目立つマイナス面も想定されます。そのことも踏まえ適宜対応してまいります。ご理解をいただきますようお願いいたします。
- 持久走大会の走る距離をもう少し長くしてもよいと思いました。(短距離が苦手な子にも練習や努力次第で勝てるチャンスを与えてあげたいです)
→全ての児童の体力面に考慮し、学習指導要領に照らして適切な距離を設定するようにしています。
- スタディ・フェスタのときの照明が暗かったです。以前のように文化ホールでした方がよいと思います。もみじも最後に歌わせてあげてほしかったです。学校の負担もあると思いますが楽器演奏がなくなり、絵の展示もなくて寂しくなっているように感じます。
→文化ホールの照明操作や工事等の関係で会場練習がスムーズに実施できないことが多かったため、使いやすい体育館に変更した経緯があります。
照明については来年度、十分に気を付けたいと思います。
今年度のもみじの合唱は、悪天候を考慮して急きょ行わないこととしました。
発表内容についてですが、学校としては、スタディ・フェスタの発表を通して児童の「表現力」を伸ばしたいと考えており、学習してきたことをベースに学年の発達段階等を考慮しながら児童といっしょに作り上げています。そのため、限られた時間数の中で、発表会に特化した単発の楽器演奏を控えています。
絵の展示については、同時期に開催される「奈古文化展」での展示が必須なため、二重の負担を考慮して行わないこととしました。
今のスタイルが児童にとっても学校にとっても過重負担にならないものであることにご理解をいただきたいと思います。
- 学年が上がるにつれて学級内でのいろいろな問題がでてくるようになったと感じています。言動がよくなって「困った子」は「困っている子」だと思います。何か不満があるのだと思います。
→ご意見ありがとうございます。児童を一面的に切り取って見ないよう留意してまいります。
- 子どもたちはがんばって学校に行っています。先生には学校へ行きたくなるような前向きな声かけをお願いします。
→ご意見ありがとうございます。職員間で留意してまいります。
- アンケートに書いた様々な意見や情報に対しての返答はいつどのようにいただけるのでしょうか。
→これまでも、ご意見として受け止めさせていただき、学校教育目標や経営方針等に照らし合わせて改善すべきものと判断した場合はそれに生かしてまいりました。一方で保護者全体に周知した方がよいと判断したものは、この報告書や学校だよりを通して回答するようにしています。

地域から

- 先生方の心身の健康面が気になります。時間外在校等時間を削減する方法を考えたいですね。
- 関係団体や行政、地域住民との関わり、連携はもとよりですが、何よりも、教員の皆さんの心身の健康維持が必要不可欠であろうと思います。大変なお務めですが、お大事頂きながらのご指導を祈っております。
- 小中連携の充実に努め、特に算数、数学の学力の向上に取り組みたい。
- 児童生徒の学力テストで県平均より低い教科があります。小学校でのつまづきがそのまま中学校へ続いたのではと考えています。小中合同での対策が必要だと思えます。
- 学力の向上に向けて具体的に取り組まれていることがあると思いますので、それを知りたいと思いました。
- 体力低下に関して、体の動きが正しく身に付いていないように見えます。中学校の先生または専門家の助言を仰いだらどうでしょうか。
- 保育園との小学校の連携はいろいろ取り組まれているので今後に期待しています。
- 地域住民とのかかわりが徐々に少なくなってきたように思います。子どもたちのために何かしたい、役に立ちたいと思っている方は少なからずいらっしゃいます。逆に大人が子どもたちから元気をもって喜ばれることも大いにあります。いろんな世代が出会える場のひとつに学校がなればいいですね。

→いずれも阿武小学校の全ての児童と教職員のことを思っ
てのご意見であると受け止めております。
衷心より感謝申し上げます。改善または強化する部分については、学校教育目標に照らしながら、
質的な充実を進めてまいります。どうぞこれからも、児童の「学び」と「育ち」をともに支えてい
ただきますようお願いいたします。

学校運営協議会で自己評価を報告した後の委員さんからのお気付き

- ◎ 細かく分析されていて感心しました。学校としての取り組みはできていると思います。これからはこれを継続していくことで学校全体のレベルアップを図ってほしいと思います。
- ◎ 報告を具体的に聞いて初めて分かったことも多く、もっと多くの保護者も知る機会があれば、より学校の活動に対して理解と協力ができることがあると思いました。
- ◎ ふるさと学習はよく工夫して取り組まれていると感じました。自分たちで考えて調べて発表する機会は大切と感じました。
- ◎ 単学級で人間関係が固定化する中、課題も山積だと思いますが、学校教育の充実によくご尽力されていると思います。
- ◎ 教職員の評価が高いことが、よい学校だと思います。
- ◎ 子どものやってみようへの意識付けにつながる取組（チャレンジ目標など）ができていると思いました。
- ◎ 進んであいさつはよくなっています。
- ◎ 保育園との連携では、阿武小の先生が保育園に入られ実情がよくわかったのではないのでしょうか。
- ◎ タブレット端末のロイロノートを今日初めて使用しました。知識が豊富になります。
- ◎ 歯は大事です。これからも歯と口の健康教育を心がけてほしいと思います。受賞おめでとうございます。

- ▼ 自分達が小学生の頃には考えられなかった様々な状況があることを再確認しました。喫緊の課題もたくさんあります。これに対応すべく、大人、地域も現状を把握したり情報を得たりすることの大切さを学びました。子どもたちの未来のために、よいこと、対応すべきことをしっかり見定め、推進させることができればと願います。教職員のみなさんもどうかお体をお大事になさってください。
- ▼ 児童の評価と他の評価が乖離している項目の中に、次年度に向けたヒントが含まれているのではないかと感じました。例えば、「4つの心や力を意識した取組」では、児童と教職員の差があり、学校の意図が児童に伝わっていないのではないかと…等の自己分析ができるのではないかと思います。
- ▼ 丸付けで中学年に入っていますが、基礎基本が理解できていない児童がいます。
- ▼ タブレット端末を活用した学習が進み、今後、成果がどのくらい上がったか来年度報告してほしいと思います。とても楽しみです。
- ▼ やさしい言葉をつかって話すことに関しては、家庭内の親子の会話、親の言葉づかいを十分に注意しないといけないと思う。
- ▼ 言葉づかいは報告書を見てびっくりしましたが、やはりメディアとのかかわり方がこれからも問題になっていくと思うので、取組を大切にしてほしいと思いました。
- ▼ 望ましいメディア利用については、便利に慣れてしまってなかなかすぐに元には戻らないと思います。家庭内での利用を考える必要があります。

ご意見、ご感想、誠にありがとうございました。